

第8回調査分析部会 議事要旨

1. 日時：平成25年11月26日（火） 16：00－18：00

2. 場所：内閣府宇宙戦略室5階会議室

3. 出席者

(1) 委員

中須賀部会長、青木部会長代理、秋山委員、磯部委員、橋本委員、渡邊委員

(2) 事務局

明野宇宙戦略室審議官、森宇宙戦略室参事官、深井宇宙戦略室参事官、
頓宮宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

(1) 南米等の宇宙政策等について

JAXA、SJACから資料1、2に基づいてヒアリングを行った。

主なヒアリング内容は下記の通り。

- ブラジルの宇宙活動は「国家宇宙活動開発政策」及び10ヵ年宇宙計画「国家宇宙活動計画」に基づいて実施されており、地球観測衛星、通信衛星、打上げロケットの開発などに重点が置かれている。
- 我が国とブラジルは、陸域観測技術衛星「ALOS」の観測データによるアマゾンの森林の違法伐採監視などで協力実績を有する。
- ブラジルの宇宙関連機器の売上は約4000万ドル。宇宙利用では、通信衛星運用企業のスター・ワン社の売上が約2億5000万ドルで世界第6位の規模。
- アルゼンチンは、農業、環境、災害管理といった社会経済的発展の観点から宇宙開発利用を進めている。

(2) 委員の調査分析レポートについて

秋山委員、青木委員から調査分析レポートの発表があった。

概要は下記の通り。

- 秋山委員からは、新興国に関して衛星の利用種類毎にどのようなニーズがあるのかなどの状況について報告があった。
- 青木委員からは、静止軌道位置の使用権確保及び衛星周波数獲得に関して、世界的に熾烈な競争が行われており、その状況について報告があった。

以上